

大宮通信

大宮中学校 学校だより
第117号 2026.5.18

暮らしの中の「色」



先週は中間テストを行いました。1年生にとっては初めての中間テストでした。テスト前に学習の計画をたて、準備に取り組むことができたでしょうか。今日からテストが返却されてきます。振り返りをおこなって、これからの学習にしっかり役立ててください。さて今日は、「色」についてのお話をしました。

当たり前のことですが、世の中にはさまざまな色があふれています。色を表す言葉もたくさんあります。とりわけ日本では、青や緑を示す言葉が多いそうです。豊かな樹木や大海に囲まれた国だからでしょうか。一方でアラスカに暮らす先住民族の言葉には、白を表す言葉がたくさんあるそうです。激しい吹雪の白、冷たい氷雪の白、暖かな湯気の白…。私たちには同じに見えても、白い世界の中で暮らしていると、すべてが違う白色に見えるのかもしれませんが。色にまつわる表現は、私たちの生活と深いつながりがあるようです。

日本のある会社は、ポテトチップスなどのお菓子のパッケージを、カラー刷りから白黒に変えるという発表をしました。今月下旬から切り替わっていく予定だそうです。中東情勢が緊迫しており、印刷インクをはじめとする一部原材料の調達が不安定な状況になっていることが理由だそうです。

歴史を振り返ると、日本では太平洋戦争の間、華やかな服を着ることを許されない社会になったことがありました。戦争は、私たちの暮らしから、豊かさや楽しみだけでなく、「色」まで奪ってしまいます。色彩を考えながら服をコーディネートしたり、食事をする時に彩を楽しんだり、「色」というのは私たちの生活を豊かにしてくれる、とても大切なものなのだと、あらためて感じます。

話は変わりますが、大型連休も終わり、現在のクラスでの生活にもかなり慣れてきたのではないのでしょうか。中間テスト前には、「平和」や「いじめ」について考える時間もありました。なかまとともに過ごす時間を大切に、一人ひとりが安心して生活できることが、クラスの雰囲気や「色」をつくっていくのだと思います。

6月に向けて、1、2年生は校外学習、3年生は修学旅行があります。各クラスで目標を決め、準備を進めていく中で、一人ひとりのきれいな色が混ざり合い、それぞれのクラスのすてきなカラーが生まれていくことを楽しみにしています。